

# 事業計画書

## 主 旨

現在、国内外を問わず、多数の人々がさまざまな情報収集や情報伝達を行うための手段として、携帯電話を含むスマートフォンやモバイルPC、カーナビゲーションシステムなどの移動体通信端末が普及しております。

これらの端末には、通信会社の通信網を利用して、インターネットやGPSを介した情報収集網が敷かれており、その利用者数や提供されているサービスの数は益々増加の一途をたどっています。

もはや情報伝達手段の主力の座を得たとも言えるこれらの端末に、従来にはなかった方法によって様々な情報サービスを提供する事は、人々の生活に様々なメリットをもたらす事が出来ると同時にビジネスチャンスが潜んでいることは疑う余地はありません。

そして当社では昨今、これらの端末に発信する情報源となりうる新しい機能を盛り込んだ微弱電波送信機であるTown Access Point（略称=TAP）を考案しました。

この装置は微弱電波送信機として既に実用新案権（実用新案登録 第3184476号）の取得を行っており、また東京都中小企業振興公社の平成25年度「新製品・新技術開発助成事業」の認可のもとに製品化を行い、これらを広く普及させることによって「地域経済の活性化」を主軸に、全国各地域の「防災・減災・防犯」に

も役立たせ、さらにこれらの製造・設置・管理・運営などの分野において、広い範囲に及ぶ新しいビジネスとして発展していく可能性を秘めていることに着眼しました。

また、当社が考案した装置である「TAP」に係るビジネスは、その殆どが行政及びその関連団体からの予算などによって賄われるものであり、売上代金等の未回収となりそうな要素がない事も特徴としている大変公共性の高い事業です。

今回当社にて考案した「TAP」及びその関連事業は、大手通信事業社や大手通信機器メーカーなどにおいても考案し得なかった製品を基軸としており、マーケット規模は無限と言っても過言ではない事業であります。

「TAP」の製品イラストをご覧頂くとお分かりの様に、一般的には市街地等で既に設置されている街路灯の下部スペースや、店舗の店頭等に設置する事を念頭においた設計としておりますが、従来のデジタルサイネージ機器にWi-Fi送信機を内蔵させたことにより生まれる情報発信の様々な利用方法が可能となった訳です。

そのために、従来になかった「①ハードウェア製造 ②ソフトウェア製造 ③設置管理 ④運営管理 ⑤コンテンツ制作」などの新たなビジネスチャンスが誕生します。

## 開発に至った経緯

当社では、この製品を開発するに至った基となっている出来事の一つに、3.11大震災があります。

また、もうひとつには当社の母体となっている株式会社ユニワールドが十数年にわたって発行している放送・映像業界向けの月刊FDI誌があります。

当社の代表取締役となっている塩原孝夫が、地元の世界田谷区下北沢の街にて、世界田谷区と公益社団法人北沢法人会が3.11大震災後に催した防災会議に参加した事に遡ります。

下北沢は、世界田谷区内屈指の繁華街であり、現在も迷路のように入り組んだ道で街が形成されているにも拘らず、発表されたその内容において、特にこの街への来外者に対する防災面での問題点が多分にあることが指摘されました。

そしてその問題点を解決する手立てはないであろうかという事に注力していたさ中、さらに大震災の被災地である岩手県陸前高田市や宮城県石巻市を訪れた事などが、製品開発へのヒントとなりました。

また、製品開発を具現化するための製造技術や製品化などについては、先に述べた月刊FDI誌を発行するにあたって、繋がりがあった会社や人々とのコミュニケーションによって世に送り出すことが出来るようになりました。

さらに、実用新案の申請や、新製品・新技術開発助成事業の認定を受けるに至ったことも、すべて世界田谷区内の方々とのコミュニケーションによるものであります。それが、この製品の「世界田谷育ち」の由縁でもあります。

## ビジネス展開について

「TAP」は「商業の活性化」と「防災・減災・防犯」という、現在の日本国内における街づくりでの諸問題を解決する一助になれるであろうと確信しております。さらにこの製品は、先頃決定した2020年東京オリンピックまでの間、市街地での通信インフラとして起用される可能性が高いことも見逃せません。

そしてこの製品は、フルスペックの場合には商店街での「面」での活用が最適ですが、一部の仕様を変更して一般の商店や会社での設置も勿論可能です。

そのため、一般の会社や商店などに対しては、既に一部の大手コンビニチェーンや鉄道会社などが行っているWi-Fiスポットサービスが、個店レベルでも可能となったことをアピールしていく方針です。

当社では、この製品の開発の基となった世田谷区内を出発点として、都内全域、さらには全国へ、そしてのちのちは海外へと事業展開を図って参ります。

マーケット規模は商店街の街路灯の数だけ…というのが当初の計画判断で、これは商業目的をベースとして考えた場合の設置可能な数値ですが、「TAP」は行政側が現在注力している安心・安全の街づくりのための「防災・減災・防犯」の機能を盛り込んでおりますので、人々が生活や行動している地域がすべて対象となり得る訳です。

さらに、商業活性化と防犯・防災の双方の役割を担う事が可能なこの製品は、製品が完成する前の時点において、当該地域の行政側に導入設置のメリットの説明等を行い、予算の計上や導入の検討を行って頂くよう打診している状況です。

街路灯の設置のための予算などは、行政側が掌握

しており、商店街が管理を行っているというのが通例でありますので、推進事業として行政側からの予算が付いた後に、商店街などの団体に打診していく方針を取って参ります。

そのため、平成26年末までに試作品を完成させますが、当社では、製品化完了前より行政側の次年度予算を計上して頂くことなどを含め、当社が把握している営業ノウハウを提携した代理店に伝授し、全国展開を図って行く所存です。

また当社では、可能な限りこの製品を早く世に送り出し、広めて行きたいという理念の元に、代理店制度による事業展開を図ってまいります。

なお代理店の業務は、「TAP」が新たに創出する「①ハードウェア製造 ②ソフトウェア製造 ③設置管理 ④運営管理 ⑤コンテンツ制作」の業務内容のうち、「③設置管理 ④運営管理 ⑤コンテンツ制作」の3つの業務処理と、TAPの設置決定に至るまでの営業活動を行って頂きます。

募集させて頂いた代理店契約金等は、製品開発の際のコストとしても活用させて頂きますが、製品完成後のデモ機の貸与などを含めて製品開発後の代理店の営業活動における資金として充当いたします。

なお、代理店数は世田谷区内で8社～9社程度（人口10万人につき1社程度）とさせて頂き募集していき、最終的に全国の拠点での設置・管理などの業務を行って頂きます。

このような事業展開にて、2020年のオリンピック開催までに全国に「TAP」を広めていきたいと考えております。

### 事業計画書その2について

当社で販売・管理を企画している微弱電波送信機は、街路灯の数や設置可能な既存の屋外広告看板の数に比例していると考えられます。

そこで以下のような「都内各区の商店街の数と、面積・人口」の統計を見てみると、面積では大田区の方が微妙に広いものの世田谷区の商店街が1番多く、また住民数も世田谷区

が一番多い。従って、まず地元である世田谷区内の商店街の1割に約1年間を掛けて各10基づつ設置したものと算出したシミュレーションです。

また、その他の地区も3年間のうちに約1割設置したものと仮定して算出してみました。

〒156-0043 東京都世田谷区松原3-39-31

ブロードメディア・サービス株式会社

TEL 03(5355)1395 FAX 03(5355)1396

### 都区内の商店街数と、面積・人口（参考資料）

区名	商店街数	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	区名	商店街数	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)
千代田	51	11.64	44,623	渋谷	57	15.11	203,649
中央	36	10.17	112,992	中野	72	15.59	313,714
港	58	20.34	212,667	杉並	97	34.02	539,179
新宿	100	18.23	314,956	豊島	99	13.01	259,320
文京	58	11.31	198,244	北	92	20.59	334,156
台東	98	10.08	172,060	荒川	43	10.20	199,845
墨田	49	13.75	241,839	板橋	50	32.17	533,529
江東	39	39.94	447,352	練馬	81	48.16	709,598
品川	104	22.72	359,319	足立	60	53.20	637,119
目黒	72	14.70	268,750	葛飾	100	34.84	430,239
大田	123	59.46	680,182	江戸川	91	49.86	667,686
世田谷	141	58.08	861,977	合計	1,771	617.17	8,742,995

### 都区内の商店街の東西比較（参考資料）

区名(東)	街数	面積	人口	区名(西)	街数	面積	人口
千代田(東)	21	2.33	8,925	千代田(西)	30	9.31	35,698
中央	36	10.17	112,992	港(西)	32	18.31	191,400
港(東)	26	2.03	21,267	新宿	100	18.23	314,956
台東	98	10.08	172,060	文京	58	11.31	198,244
墨田	49	13.75	241,839	品川(西)	83	12.50	197,625
江東	39	39.94	447,352	目黒	72	14.70	268,750
品川(東)	21	10.22	161,694	大田(西)	78	29.73	340,091
大田(東)	45	29.73	340,091	世田谷	141	58.08	861,977
北(東)	43	8.24	133,662	渋谷	57	15.11	203,649
荒川	43	10.20	199,845	中野	72	15.59	313,714
足立	60	53.20	637,119	杉並	97	34.02	539,179
葛飾	100	34.84	430,239	豊島	99	13.01	259,320
江戸川	91	49.86	667,686	北(西)	49	12.35	200,494
—				板橋	50	32.17	533,529
				練馬	81	48.16	709,598
合計	672	274.59	3,574,770	合計	1,099	342.58	5,168,225